

平成 26 年 7 月 17 日 00179 号

編集者:佐藤 寿春

北見武道通信

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【武道館情報】武道祭演武団体紹介②

北見市武道振興協議会創立 20 周年記念事業の第 19 回北見市総合武道祭演武団体紹介の第 2 弾は、北見合気武道会・大東流合気武道至誠館の皆様です。北見合気武道会のほか、このたび初となります至誠館の参加により、また違った内容の演武を披露することができました。来週は、北見市柔道協会による北見市武道祭第 1 回少年少女柔道大会をご紹介します。



【武道館情報】剣道講習会開催！！

先日の 7 月 12 日(土)剣道第一種受審者講習会・砂川大会予選会が同日開催されました。当日の午前中は、講習会ということもあり、小西 信理事長をはじめとした先生方による指導を聞き入っていました。午後からは少年部による予選会が開催され、白熱した試合が展開されました。



【武道館情報】弓道場の的張りを行っています。

毎月 2 回ほど、武道館スタッフにより弓道場で使用する的の張替え作業が今週月曜日に行いました。北見市弓道会の協力・指導を受けた当館スタッフが、約 15～30 個の的の土をたわしで落とし、新しい的紙をシワ一つ無く丁寧に貼り付けています。武道の広場の一角を利用するため、来館者の皆様にご迷惑をおかけすることもございますが、より良い鍛錬環境を整えるため、ご協力下さい。



連載 中国「老子」の思想 六十三章 聖人は大をなさず

無為を守って「道」にのっとり、感性による判断を捨てて「道」を認識する。

小と大、少と多、それぞれの対立と転化の法則を理解し、怨みといった小さな感情は、広い徳で包容する。

難事は、もつれぬ先に処理し、大事は、小事のうちに收拾する。

いかなる難事であろうとも、その発端はつねに単純な問題にすぎず、いかなる大事であろうとも、その発端はつねに些細な事件にすぎないからだ。

聖人は、終生、大事に直面することがない。だからこそ、大事を成し遂げることができるのだ。

安請合いは不信を招き、軽視は困難のもとである。

聖人は、たやすく見える物事さえ、困難視して対処する。だからこそ、終生、困難に見舞われることがないのである。

〈無為を守って…のっとり〉原文は「無為をなし、無事を事とす」。「無為」も「無事」も、同義を反復するもの。

原文:爲無爲、事無事、味無味。大小多少、報怨以德。圖難於其易、爲大於其細。天下難事必作於易、天下大事必作於細。

是以聖人終不爲大。故能成其大。夫輕諾必寡信、多易必多難。是以聖人猶難之。故終無難。

六十四章に続く